

令和 2年 7月 吉日

エイズ診療拠点病院・中核拠点病院
ブロック拠点病院
院長 殿

独立行政法人国立病院機構
大阪医療センター
院長 是恒 之宏
(押印省略)

令和2年度 HIV感染症研修会開催について

拝啓 時下ますますご清勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、令和2年度 HIV感染症研修会を下記のとおり開催いたします。

業務御多忙のことと存じますが、貴職員のご参加をいただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

- 日 時 令和2年11月2日(月) 13:00～18:05 (12:30受付開始)
令和2年11月3日(火・祝) 9:00～16:40 (8:40受付開始)
- 会 場 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 緊急災害医療棟 2階 研修室/3階 講堂
- 開催目的 最新の専門知識・治療技術を習得させ、西日本におけるHIV治療及び感染対策の充実を図る。
- 対 象 西日本の国立病院機構施設・西日本のエイズ治療拠点病院(北陸・東海・近畿・中四国・九州ブロック)に勤務する医師・看護師・薬剤師・カウンセラー・MSW等、HIV感染症患者と接している、もしくは接すると思われる職員
- 申込方法 別紙(参加登録用紙)に必要事項をご記入の上、FAXで返送して下さい。
- 定 員 50名 (応募者多数の場合は、優先順位に沿って人数調整させていただく場合があります。)
- 締 切 日 令和2年9月25日(金)

*受講後には、修了証を発行いたします。当該研修会は、日本エイズ学会認定医、日本エイズ学会認定看護師の指定研修です。修了証は大切に保管してください。

*当該研修会を受講した薬剤師には、HIV感染症薬物療法認定薬剤師の認定及び更新に必要な受講証を発行致します。

*別添の「HIV感染症におけるコミュニケーションとチーム医療研修会」を令和2年11月4日に開催いたします。当該研修会の参加者も受講可能です。

*今後の新型コロナウイルス感染症流行の状況により、やむを得ず中止させていただく場合がございます。何卒ご了承頂きますようお願い致します。

令和2年度 HIV感染症研修会プログラム (案)

開催日：令和2年11月2日(月)～3日(火/祝)

場所：国立病院機構大阪医療センター 緊急災害医療棟 2階研修室/3階講堂

第1日 令和2年11月2日(月)	第2日 令和2年11月3日(火/祝)
受付 12:30-13:00(30分)	受付 8:40-9:00(20分)
13:00-13:05(5分) 研修会説明・諸注意	⑦ 9:00-9:45(45分) 「日和見感染症(PCP)」 国立病院機構大阪医療センター エイズ先端医療研究部 HIV感染制御室長 渡邊大
13:05-13:15(10分) 「開会挨拶」 国立病院機構大阪医療センター 院長 是恒之宏	⑧ 9:45-10:30(45分) 「免疫再構築症候群」 国立病院機構大阪医療センター 感染症内科 科長 上平朝子
① 13:15-14:00(45分) 「疫学と抗HIV治療ガイドライン」 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター長 白阪琢磨	休憩 10:30-10:40(10分)
② 14:00-14:45(45分) 「HIV感染症の診断」 国立病院機構大阪医療センター エイズ先端医療研究部 HIV感染制御室長 渡邊大	⑨ 10:40-11:55(75分) 「症例検討(他職種との連携)」 HIV看護コーディネーター 中濱智子 医療福祉相談室 医療社会事業専門員 岡本学 薬剤部 薬剤師 中内崇夫 臨床心理室 心理療法士 西川歩美
休憩 14:45-14:55(10分)	休憩 11:55-13:00(65分)
③ 14:55-15:40(45分) 「抗HIV薬の特徴と薬剤師の役割」 国立病院機構大阪医療センター 薬剤部 主任薬剤師 櫛田宏幸	⑩ 13:00-13:30(30分) 「針刺し暴露後対策」 国立病院機構大阪医療センター 感染症内科 科長 上平朝子
④ 15:40-16:25(45分) ディスカッション「抗HIV療法の実際」 国立病院機構大阪医療センター エイズ先端医療研究部 HIV感染制御室長 渡邊大 薬剤部 研究教育主任 矢倉裕輝	⑪ 13:30-14:15(45分) 「外来・病棟看護と療養支援」 国立病院機構大阪医療センター HIV看護コーディネーター 中濱智子
休憩 16:25-16:35(10分)	休憩 14:15-14:25(10分)
⑤ 16:35-17:20(45分) 「血友病診療・凝固因子製剤の使い方」 国立病院機構大阪医療センター 感染症内科 医長 西田恭治	⑫ 14:25-15:10(45分) 「HIVとカウンセリング」 国立病院機構大阪医療センター 臨床心理室 主任心理療法士 安尾利彦
⑥ 17:20-18:05(45分) 「HIV感染者に対するソーシャルワーク」 国立病院機構大阪医療センター 医療福祉相談室 医療社会事業専門員 岡本学	休憩 15:10-15:20(10分)
	⑬ 15:20-16:20(60分) 「薬害エイズと医療体制」 特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権<MERS> 理事 花井十伍 氏
	16:20-16:30(10分) 修了証授与・アンケート回答
	16:30-16:40(10分) 「閉会挨拶」 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター長 白阪琢磨

令和2年 7月 吉日

エイズ診療拠点・中核拠点病院
ブロック拠点病院
院長 殿

独立行政法人国立病院機構
大阪医療センター
院長 是恒 之宏
(押印省略)

令和2年度 HIV 医療におけるコミュニケーションとチーム医療研修会 開催について

拝啓 時下ますますご清勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、令和2年度 HIV 医療におけるコミュニケーションとチーム医療研修会を下記のとおり開催いたします。
業務御多忙のことと存じますが、貴職員のご参加をいただきますようお願い申し上げます。 敬具

記

- 日 時 令和2年11月4日(水) 9:05~16:40 (受付開始:8:50~)
- 会 場 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 緊急災害医療棟 2F 研修室
- 開催目的 HIV 医療での援助的コミュニケーションスキルの向上 (援助的コミュニケーションスキルの習得、さまざまなセクシュアリティの理解) を図り、チーム医療で生かすこと
- 対 象 西日本の国立病院機構施設・西日本のエイズ治療拠点病院(北陸・東海・近畿・中四国・九州ブロック)に勤務する医師・看護師・薬剤師・カウンセラー・MSW 等、HIV 感染症患者と接している、もしくは接すると思われる職員
- 申込方法 別紙参加登録用紙 (HIV 感染症研修会と共通) に必要事項をご記入の上、FAX で返送して下さい。
- 定 員 40名 (応募多数の場合は、優先順位に沿って人数調整させて頂く場合があります。)
- 締 切 日 令和2年9月25日(金) 必着

*別添の「HIV 感染症研修会」を令和2年11月2日(月)・3日(祝・火)に開催いたしますが、本「HIV 医療におけるコミュニケーションとチーム医療研修会」のみの参加も可能です。

令和2年度 HIV 医療におけるコミュニケーションとチーム医療研修会（案）

〈本研修会の目的〉 HIV 医療/包括的ケアの質向上を図り、陽性者の QOL 向上に資することを目的とする。研修ニーズとしては、①「性的なこと等、話しにくい事柄を話題にする時の工夫」、②「セルフケアに困難を抱える患者への対応」、③「メンタルが悪化した患者、薬物使用がある患者への対応」等が挙げられている。今回は①と②に主眼を置き、多職種アプローチを試みるプログラムを提供する。

◆開催日時・場所：令和2年11月4日（水） 緊急災害医療棟2階 研修室①～③

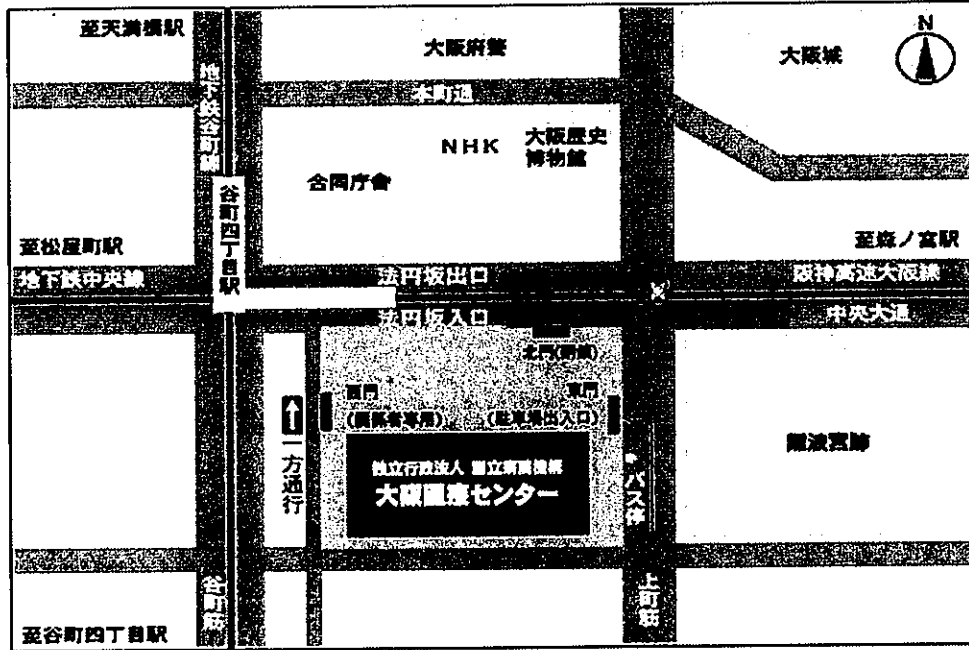
◆プログラム：

8：50～	受付
9：05～9：15	開会の挨拶、研修会説明・諸注意
9：15～10：15	講義①「HIV 感染症の最近の話題：U=U をめぐって」 講師：松浦基夫/NPO 法人 CHARM 理事長、前・堺市立総合医療センター内科統括部部長、感染症対策センター長 内容：U=U の意味と根拠を整理・確認した上で、U=U が陽性者や社会にもたらす心理・社会的影響や、それを臨床現場でどう情報提供していくのかなど、性に関わる事柄を臨床の場でどのように扱っていけばよいかを考える基礎としての講義
10：15～10：20	休憩
10：20～12：20	講義②「話しにくい話題を取り上げて話すには？」 (セクシュアリティの基礎知識のおさらい、 援助的コミュニケーションの基礎と工夫+演習) 講師：山中京子/コラボレーション実践研究所所長、 大阪府立大学名誉教授 内容：陽性者理解の基礎として、セクシュアリティについての基礎知識の確認となる講義と、援助的コミュニケーションの基礎的技法と“話しにくい話題”を取り上げて話す際の工夫、援助的コミュニケーションの簡単な演習
12：20～13：20	昼休み
13：20～16：30 (途中適宜休憩あり) (グループの編成は参加者の構成により、多職種混合または職種ごと)	③多職種による事例検討「セルフケアに困難を抱える事例」 司会進行/コメンテーター：山中京子 事例提示：調整中/大阪医療センター臨床心理室 事例への補足説明・コメント：東政美/大阪医療センター看護部 内容：提示された事例に対し、参加者（医師、看護師、薬剤師、MSW 等）は小グループで討議・発表しながら、事例への理解を深め、その職種（個人）としての対応と、チームでの対応について考えていく。）
16：30～	アンケート記入・解散

《交通アクセス》

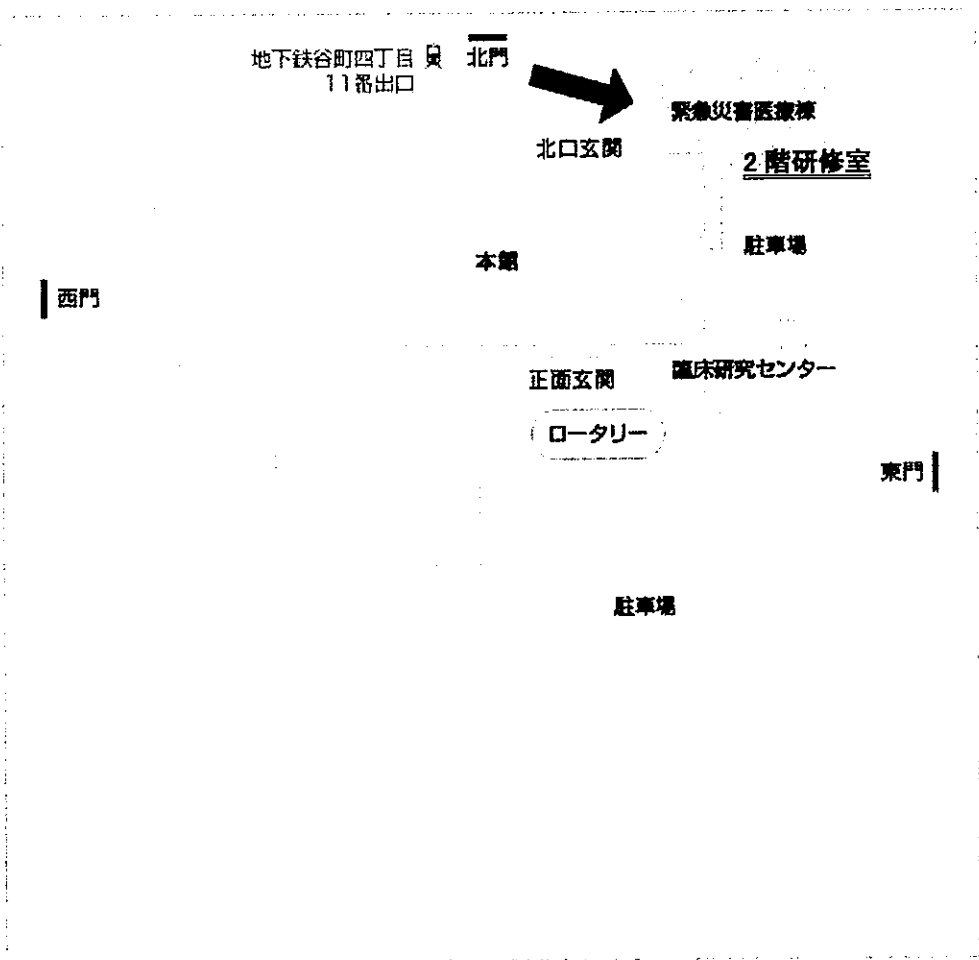
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

(〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14)



- ・大阪メトロ 谷町線・中央線 「谷町四丁目」駅 11番出口すぐ
- ・大阪市バス 「国立病院大阪医療センター」下車

敷地案内図 (研修会場：緊急災害医療棟 2階 研修室)



返信用FAX送信票
(FAX番号:06-6943-6467)

令和2年度HIV感染症研修会及びHIV感染症におけるコミュニケーションとチーム医療研修会
参加登録用紙

9月25日(金)必着

〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14
国立病院機構大阪医療センター
TEL:06-6942-1331(代表)
【参加登録送付先】 職員研修部 金光

※ 優先順位		
フリガナ		
① 参加希望者氏名		②性別
③ 生年月日	年 月 日	(歳)
④ 施設名		
④ 住所	〒	
⑤ 職種		
⑥ 受講を希望する研修会(両方もしくはどちらかにチェックを入れて下さい)	<input type="checkbox"/> HIV感染症研修会(R2.11.2&3)	
	<input type="checkbox"/> HIV感染症におけるコミュニケーションとチーム医療研修会(R2.11.4)	
⑦ HIV感染症患者への対応経験	有り ・ 無し	
⑧ HIV感染症患者の症例経験数	例	
⑨ 所属病院長推薦理由		
所属病院長名: (公印不要)		
⑩ 事務担当者 (申込後は事務担当者様宛に書類等郵送します)	氏名:	
	メールアドレス:	
	電話番号:	
以下⑩～⑫につきましては「HIV感染症におけるコミュニケーションとチーム医療研修会」に参加希望の方のみお答え下さい		
⑪ 過去のコミュニケーション研修会への参加の有無	有り(平成 年度) ・ 無し	
⑫ 日頃の臨床で、援助に困難を感じるテーマをご記入ください		

※1施設につき2名以上参加される場合は「優先順位」欄に数字をご記入下さい(応募者多数の場合は、優先順位に沿って人数調整させていただく場合があります)。

※宿泊施設につきましては各自で手配ください。